



2020年7月9日

各 位

会 社 名 寿スピリッツ株式会社
 (URL <https://www.kotobukispirits.co.jp/>)
 代 表 者 名 代表取締役社長 河越誠剛
 (コード：2222 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役経営企画部部長 松本真司
 T E L 0859(22)7477

2021年3月期第1四半期の売上状況(概算)について

2021年3月期の第1四半期(2020年4月1日~2020年6月30日)の売上状況(概算)についてお知らせいたします。

第1四半期売上高(概算) 2,681百万円 前年同期比 74.8%減

セグメント別売上状況

(単位：百万円)

	第1四半期(4月-6月)			
	当四半期	前四半期	増減	増減率
シュクレイ	675	3,625	△2,950	△81.4%
ケイシイシイ	1,114	2,878	△1,764	△61.3%
寿製菓・但馬寿	580	2,690	△2,110	△78.4%
販売子会社	208	1,606	△1,398	△87.0%
九十九島グループ	224	1,059	△835	△78.9%
その他	97	258	△161	△62.2%
小 計	2,898	12,117	△9,219	△76.1%
調整額(注)	△217	△1,490	1,273	△85.4%
合 計	2,681	10,627	△7,946	△74.8%

(注) 調整額は、セグメント間の内部売上高であります。

[補足説明]

当第1四半期累計期間(4月～6月)は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、本年4月、政府による「緊急事態宣言」の発令を受け、外出自粛要請に伴う移動の減少や出店施設の臨時休業などにより、消費活動は急激に冷え込み、当社グループにおきましても事業活動の縮小を余儀なくされました。

これらの影響により、売上面では、通信販売は、前年同期比46.7%増の822百万円となり、ケイシイシイの「ルタオ」を中心に堅調に推移いたしました。一方、直営店、催事、交通拠点チャンネル(駅・空港・SAなど)がメインの卸販売、海外向け売上など主要な販売チャンネルでの売上高は軒並み激減し、甚大な影響を受けました。この結果、当第1四半期会計期間(4月～6月)の売上高は、前年同期比74.8%減の2,681百万円の見込みであります。

月別の売上高(海外子会社除く)で見ると、4月が前年同月比82.4%減、5月が同79.0%減、6月が同61.5%減となり、5月下旬の「緊急事態宣言」解除後は緩やかな回復基調にあるものの、本格的な回復には至っておらず、極めて厳しい状況が続いております。

[業績予想について]

2021年3月期の業績予想につきましては、適正かつ合理的な業績予想の算定が非常に困難なことから「未定」といたしております。今後の動向を見極め、開示が可能になった段階で、速やかに開示する予定であります。

なお、当第1四半期の決算発表は、2020年7月30日(木)の予定であります。

以 上